

安藤雅信さん、伊村俊見さん、故五代加藤幸兵衛さん、故小林文一さん制作

陶芸4作を永年保存

東濃信金選定 購入し美術館展示

東濃信用金庫の美濃陶芸作品永年保存事業の本年度選定作品が24日発表され、陶作家安藤雅信さん(62)＝多治見市東栄町＝、陶芸家伊村俊見さん(58)＝瑞浪市日吉町＝、特別永年保存選定作品に故人の五代加藤幸兵衛さん、小林文一さんの作品が選ばれた。

(野中準二)



安藤さんの「茶器揃」は、銀彩の焼水器や宝瓶、黒錆釉の茶杯、茶たぐなど中国茶器のセットで、日常と非日常が融合した作品。伊村さんの作品「囊 nuri ari(ぬりり)」は、手びねりの技法で制作した立体造形。さまざまな外圧で変化する袋の形態から、移ろいゆく物質や時を表現した。特別永年保存選定作品は、五代幸兵衛さんの「萌黄金彩仙蓋瓶」、小林さんの作品「赫象」が選ばれた。

発表会は多治見市虎渓山町のとつしん学びの丘エールで開かれ、安藤さんは「日

永年保存選定作品に選ばれた作品を前にする安藤雅信さん(右)と伊村俊見さん＝多治見市虎渓山町、とつしん学びの丘エール

本の素晴らしい美意識、文化を伝えていくため、今後とも研さんしたい」、伊村さんは「これまでの焼き物とは違うアプローチで日本的な表現を追究したい」と喜びを語った。

永年保存選定作品は1月

に推進委員会で委員長の子代加藤幸兵衛さんらが選んだ。同金庫が作品を購入し、25日から同所のとつしん美濃陶芸美術館で展示する。事業は34年目で、永年保存作品は計103点になった。